

2 地球温暖化の影響^{えいきょう}

理科…自然と人間

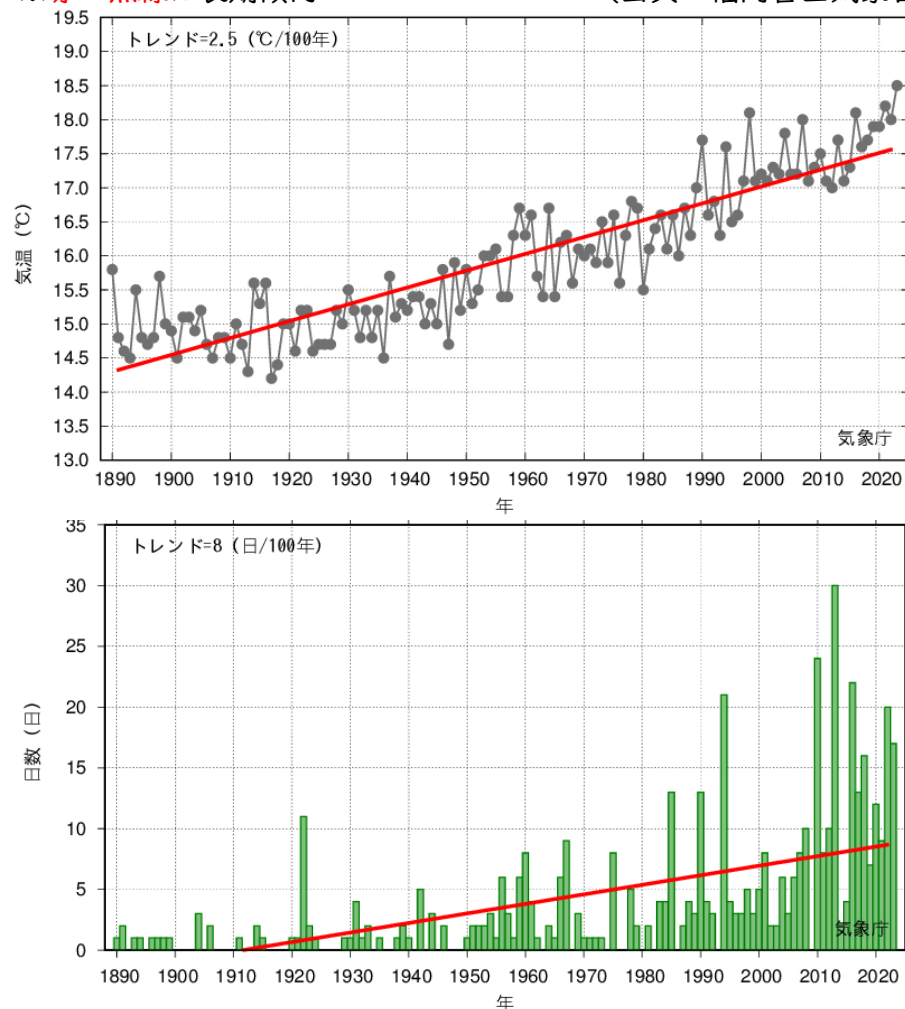
(3) 21世紀末の気象

近年、平均気温が上^{じょうしやう}昇し、真夏日^{もうしよ}や猛暑日^{もうしよ}といった暑い日も増えています。福岡の年平均気温は、100年で 2.5°C の割合で上^{じょうしやう}昇しており、日本の年平均気温の上^{じょうしやう}昇割合($1.4^{\circ}\text{C}/100$ 年)よりも大きいことが分かりました。また、福岡の猛暑日^{もうしよ}は、100年当たり8日の割合で増加しています。

■福岡の年平均気温(上)^{もうしよ}、猛暑日数(下)のうつりかわり

※赤い点線は長期傾向^{けいこう}

(出典：福岡管区気象台)



このまま地球温暖化が進むとどうなるのでしょうか。世界中の科学者が協力して100年先の温度を予想しています。それによると、もし地球温暖化を防ぐ努力をしないと、21世紀末には世界の気温が、20世紀末に比べて $3.3\sim 5.7^{\circ}\text{C}$ 上^{じょうしやう}昇すると考えられています。(出典：IPCC 第6次評価報告書)

【真夏日】

・最高気温が 30°C 以上 35°C 未満の日

【猛暑日】

・最高気温が 35°C 以上の日

【IPCC】

・国連の活動の一つで「気候変動に関する政府間パネル」のこと。
・世界中の気候変動の研究状況^{きようきふきやう}を整理した報告書を公開している。
・2019年の特別報告書では、気温上昇^{きようしやう}を 2°C よりも 1.5°C 未満におさえることで気候影響^{ききうえいきやう}は大きく異なることが説明された。



<話し合ってみよう>

世界的な予測に基づいて、将来、九州各県の気象がどうなるか予測されています。下の表は、福岡の予測結果をまとめたものです。この表から、福岡の将来の気象について考えたことを話し合ってみよう。

■ 福岡県の将来の気象予測*1

項目	20世紀末 1980～1999年	将来予測 2080～2099年	(参考) 2023年
年平均気温	16.7℃	4.1℃ ^{じょうしょう} 上昇	18.5℃
真夏日	52日	約63日増加	89日
^{もうしよ} 猛暑日	5日	約35日増加	17日

(話し合いのポイント)

- ・ 人間の生活や健康への^{えいきょう}影響
- ・ 農林水産物への^{えいきょう}影響

◇考えたこと

◇話し合った結果



*1 九州・山口県の地球温暖化予測情報第2巻 2019年5月増補版（福岡管区気象台）